

おきさきさまは、また、
いすにこしをおかけにな
りました。そうして、お
うさまは、まっかにおこ
って、おしゃべりひめを
おにらみになりました。

「このばかひめめ。おま
えのように、よけいなこ
とをおしゃべりするやつ
は、みたことがない。こ
のうえ、そんなことを、
おしゃべりしたら、いし
のろうやへいれてしまう

ぞ」と、おおきなこえで
おしかりになりました。

「これからは、ほんとう
のことを、おはなしなさい。
ね、いいこだから」と、
おかあさまのおきさ
きさまが、おとりなしに
なりました。けれどもお
しゃべりひめは、へいき
でこういいました。「い
いえ。これからがほんとう
なのです。いままでの
は、こんどのほんとうに

おもしろいおはなしをするために、おはなししたのです」「なに、これからが、ほんとうにおもしろいおはなしだということのか」「それは、どんなおはなしですか」と、おうさまも、おきさきさまもおたずねになりました。おしゃべりひめは、また、おはなしをはじめました。「あたしは、いままでおはなしした、ふたつ

のゆめがさめますと、ほん
とにこんやは、へんな
ばんだとおもいました。
だって、ねていれば、お
とこがきそうだし、じょ
ちゅうのへやにいった
ら、また、